



1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ハイライト SPA-FC3 (C 剤)
製品コード : 1123112712000C-2022

販売者: 三笠産業株式会社
〒340-0043 埼玉県草加市草加5-6-10
tel (048)941-8215
fax (048)943-4897

会社情報

日産化学株式会社 化学品事業部 ファインケミカル営業部
〒103-6119
東京都中央区日本橋二丁目5番1号
電話番号 03-4463-8150 FAX 番号 03-4463-8138

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康有害性	急性毒性 (経口)	区分 4
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 3 (気道刺激性)
環境有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分 3
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 3

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素

絵表示

(GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP) : 危険

危険有害性 (GHS JP) : 飲み込むと有害 (H302)
重篤な眼の損傷 (H318)
呼吸器への刺激のおそれ (H335)
長期継続的影響によって水生生物に有害 (H412)

注意書き (GHS JP)

安全対策 : 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。(P261)
取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。(P271)
環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

応急措置 : 飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。(P301+P312)
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
直ちに医師に連絡すること。(P310)
気分が悪いときは医師に連絡すること。(P312)
口をすすぐこと。(P330)

ハイライト SPA-FC3 (C 剤)

改訂日: 2022/05/20 バージョン:

- 保管 : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)
施錠して保管すること。(P405)
- 廃棄 : 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。
(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
重亜硫酸ナトリウム	95 以上	Na2O5S2	(1)-502	既存化学物質	7681-57-4

4. 応急措置

応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水で洗うこと。
皮膚刺激または発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 直ちに医師に連絡すること。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
水で数分間注意深く洗うこと。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

医師に対する特別な注意事項

- その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧、泡消火剤、乾燥粉末消火剤、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 火災危険性 : 不燃性。
- 爆発の危険 : No data available on direct explosion hazard。
- 火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。
- 消火方法 : 危険なく火から小包を離すことができる場合、火から小包を離します。
水噴霧や霧水で熱にさらされた容器を冷却する。
- 消火時の保護具 : 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。

ハイライト SPA-FC3 (C 剤)

改訂日: 2022/05/20 バージョン:

応急処置 : 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 本液体が下水溝、水の流れ、地下、基盤に流れ込まないようにする。
環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 漏出物を回収すること。

浄化方法 : (箒で掃除したり、シャベルでかき回したりしながら) 道具を使って集め、廃棄のために、適切な容器に入れる。

その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い**

技術的対策 : 情報なし

安全取扱注意事項 : 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
皮膚、眼との接触を避ける。
粉じんを吸い込まないこと。

接触回避 : 情報なし

衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件 : 情報なし

安全な容器包装材料 : 情報なし

技術的対策 : 容器に漏れのないことを確認し、密閉して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

重亜硫酸ナトリウム (7681-57-4)	
日本 - ばく露限界値	
許容濃度 (ACGIH)	TWA 5 mg/m ³ , STEL -

設備対策 : 本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。部屋の排気および全般的な換気を確保する。十分に換気し、粉じん濃度を最小限に抑える。

保護具

手の保護具 : 保護用手袋

眼及び／又は顔面の保護具 : 化学用ゴーグルまたは安全眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

個人用保護具シンボル

ハイライト SPA-FC3 (C 剤)

改訂日: 2022/05/20 バージョン:



9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体
色	: 白色
臭い	: 特有な刺激臭
融点	: 150 ° C
凝固点	: 情報なし
沸点	: 情報なし
可燃性	: 不燃性
爆発限界 (vol %)	: 情報なし
引火点	: 情報なし
自然発火点	: 情報なし
分解温度	: 情報なし
pH	: 情報なし
動粘性率	: 情報なし
溶解度	: 水: 470 g/l
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: -3.7
蒸気圧	: 情報なし
相対密度	: 情報なし
密度	: 情報なし
相対ガス密度	: 情報なし
粒子特性	: 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 情報なし
化学的安定性	: 情報なし
危険有害反応可能性	: 情報なし
避けるべき条件	: 情報なし
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 飲み込むと有害
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)

ハイライト SPA-FC3 (C 剤)	
ATE JP (経口)	1621.053 mg/kg bodyweight

ハイライト SPA-FC3 (C 剤)

改訂日: 2022/05/20 バージョン:

重亜硫酸ナトリウム	
急性毒性 (経口)	ラットの LD50 値として 1,540 mg/kg (SIDS (2001))、(EPA Pesticides (2007)) に基づき区分 4 とした。なお、他に LD50 値として 1,131mg/kg (EPA Pesticides (2007))、2,480 mg/kg (SIDS (2001)) がある。

皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 重篤な眼の損傷

重亜硫酸ナトリウム	
眼に対する重篤な損傷又は刺激性	SIDS (2001) ではウサギを用いた眼刺激性/腐食性試験 (OECD TG 405 準拠) において、「刺激性。眼に重篤な損傷の危険性」との結果から、「眼刺激性物質である」と結論している。また、本物質は、EU DSD 分類において「Xi : R41」、EU CLP 分類において「Eye Dam. 1 H318」に分類されている。以上の情報に基づき区分 1 とした。旧分類の分類根拠に使用していたデータ「ECETOC TR 66」は、記載が込れなかった。新しく得られた情報に基づき分類を見直した。

呼吸器感受性 : 区分に該当しない
 皮膚感受性 : 分類できない
 生殖細胞変異原性 : 分類できない
 発がん性 : 分類できない
 生殖毒性 : 分類できない
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 呼吸器への刺激のおそれ

重亜硫酸ナトリウム	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ヒトにおいて、喉の炎症を引き起こすとの記載 (HSDB (Access on September 2013)) やマウスにおいて上部呼吸器への刺激がみられた (ACGIH (7th, 2001)) ことから区分 3 (気道刺激性) とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 分類できない
 誤えん有害性 : 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性) : 水生生物に有害
 水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に有害

ハイライト SPA-FC3 (C 剤)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-3.7

重亜硫酸ナトリウム	
水生環境有害性 短期 (急性)	藻類 (Scenedesmus subspicatus) による 72 時間 EC50=48.1 mg/L (SIDS, 2004) であることから、区分 3 とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	慢性毒性データを用いた場合、本物質は無機化合物で、水中での挙動が不明であり、甲殻類 (オオミジンコ) の 21 日間 NOEC > 10 mg/L (SIDS, 2004) であることから、区分外となる。慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、本物質は無機化合物で、水中での挙動が不明であり、藻類 (Scenedesmus subspicatus) による 72 時間 EC50=48.1 mg/L (SIDS, 2004) であることから、区分 3 となる。以上の結果を比較し、区分 3 とした。

残留性・分解性

残留性・分解性 : 情報なし

ハイライト SPA-FC3 (C 剤)

改訂日: 2022/05/20 バージョン:

生体蓄積性

生体蓄積性 情報なし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) -3.7

土壌中の移動性

土壌中の移動性 情報なし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) -3.7

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない
その他の有害な影響 : 追加情報なし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。

14. 輸送上の注意**国際規制****国連勧告 (UN RTDG)**

国連番号 (UN RTDG) : 非該当
正式品名 (UN RTDG) : 非該当
容器等級 (UN RTDG) : 非該当
輸送危険物分類 (UN RTDG) : 非該当

海上輸送 (IMDG)

国連番号 (IMDG) : 非該当
正式品名 (IMDG) : 非該当
容器等級 (IMDG) : 非該当
輸送危険物分類 (IMDG) : 非該当

海洋汚染物質

非該当

航空輸送 (IATA)

国連番号 (IATA) : 非該当
正式品名 (IATA) : 非該当
容器等級 (IATA) : 非該当
輸送危険物分類 (IATA) : 非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令**国内法令**

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号別表第 9)

ハイライト SPA-FC3 (C 剤)

改訂日: 2022/05/20 バージョン:

	名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号別表第 9）
	二亜硫酸ナトリウム（政令番号：412）（90%以上）
外国為替及び外国貿易法	: 輸出貿易管理令別表第 1 の 16 の項
水道法	: 有害物質（法第 4 条第 2 項）、水質基準（平 15 省令 101 号）
労働基準法	: 疾病化学物質（法第 75 条第 2 項、施行規則第 35 条別表第 1 の 2 第 4 号 1）

16. その他の情報

その他の情報	: 記載事項は作成時点で入手できた情報に基づいておりますが、その内容を保証するものではありません。また、新しい知見により改訂することがあります。化学品には予見できない有害性がありうるため取扱いには細心の注意を払ってください。
--------	--